

産業クラスターと地域競争力

地域内発的な競争力の強化へ

高度成長期における日本の産業構造はフルセット型の構造であった。これは、全ての産業分野を一定のレベルで国内に展開させ、かつ、成熟商品の量産から、新製品開発機能、研究開発機能などといった全ての機能をフルセットで持つ産業構造である。

そして、大きく分ければ、東京近隣地域を頂点とした首都圏、あるいは近畿圏（近年は凋落傾向にあるが）が研究開発機能を受け持ち、地方圏が量産を受け持ってきた。

企業活動の構造からいえば、本社、および研究開発部署が東京などの都市部に立地し、工場および下請企業群が地方に立地するという、中央集権型、ピラミッド型の構造となっていた。

しかし、アジア地域の工業化の進展は、地方に立地していたピラミッドのすそ野部分である下請企業群に取って代わることとなった。

そのため、地方においては、再度、地域に依存する生産要素、競争力の要素を見出し、交通インフラ等のハード面、研究開発、金融の支援機能等のソフト面の両面での支援機能を整備していくことにより、対等なネットワーク形成がさげられるようになった。すなわち、地域内発的な産業振興である。

そして、ここで注目されるようになったのが、米国の経営学者マイケル・E・ポーターの唱える「産業クラスター」である。

1 地域産業と開発政策

（1）地方産業の高度化に向けた80年代の動き

1980年代、国土開発政策においての課題は、都市部の過密の緩和と、地方部での産業分散、高度産業拠点の創出であり、産業構造審議会答申により「技術立国」が打ち出され、テクノリサーチ、リサーチコア、頭脳立地の推進が図られた。

83年には、「高度技術工業集積集積地域開発法」（テクノポリス法）が施行され、89年までに全国26地域が指定されるにおよび、各地域が大企業の誘致合戦を繰り広げることとなった。

しかし、企業の経済合理性を追求する動きから、研究開発、金融、情報などの高度都市機能の大都市部集中、特に東京一極集中は止まらず、第四次全国総合開発計画では「国土の均衡ある発展」が打ち出されるに至った。

これにより、88年には「地域産業の高度化に寄与する特定事業の集積に関する法律」（頭脳立地法）が制定され、研究所やソフトウェア業など、産業の頭脳となる分野の立地を促進し、地域産業の高度化が目指された。

また同年、「多極分散型国土形成促進法」（多極法）が制定され、国の行政機関の移転、振興拠点地域制度、業務核都市整備制度などが打ち出され、これは、さらに92年の「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律」（地方拠点法）へと引き継がれた。

（2）バブル崩壊とアジア地域の台頭

80年代末頃から訪れたバブル好況期には、自治体では税収増からテクノパーク、工場用地の開発と、様々な優遇施策による誘致合戦が活発化し、一方、企業では人手不足が深刻化したことから、地方への研究施設、新鋭工場の進出が進んだ。

先端技術産業と学術研究機関による高度都市形成により、先端技術大手企業の誘致、及びそれに関連した中堅企業の立地促進が目指され、地域産業の高度産業への構造的な転換が期待された。

しかし、研究開発機能、量産機能のといった限定的な機能の地方進出で、販売・流通機能、決済機能、人事機能などの基幹的なサービス群は、本社ないし本社周辺に留められるなか、付随的な新産業の勃興や、雇用創出、地域産業への技術伝播もまた限定的となった。

産・学連携、および産業と近接した居住地域の開発は未成熟のままで終わり、また、大企業とそれに付随する中堅企業の誘致は、地域の中小企業とは隔絶するものがあり、地場産業に対する波及効果にも限界があったといえる。

そして、円高の進行、規制緩和・撤廃（グローバルな競争激化）、アジア地域の生産力の急速な発展等もあって、地域産業の再興をめざして97年（平成9）には「地域産業集積活性化法」が施行された。また、テクノポリス法、頭脳立地法の両法は、99年（平成11）に施行された地域の内発的な産業創造を目指す「新事業創出促進法」へと衣替えする形で廃止された。政府が地方産業を誘導する時代の終わりである。

2 産業クラスターの創生

（1）産業クラスターとは

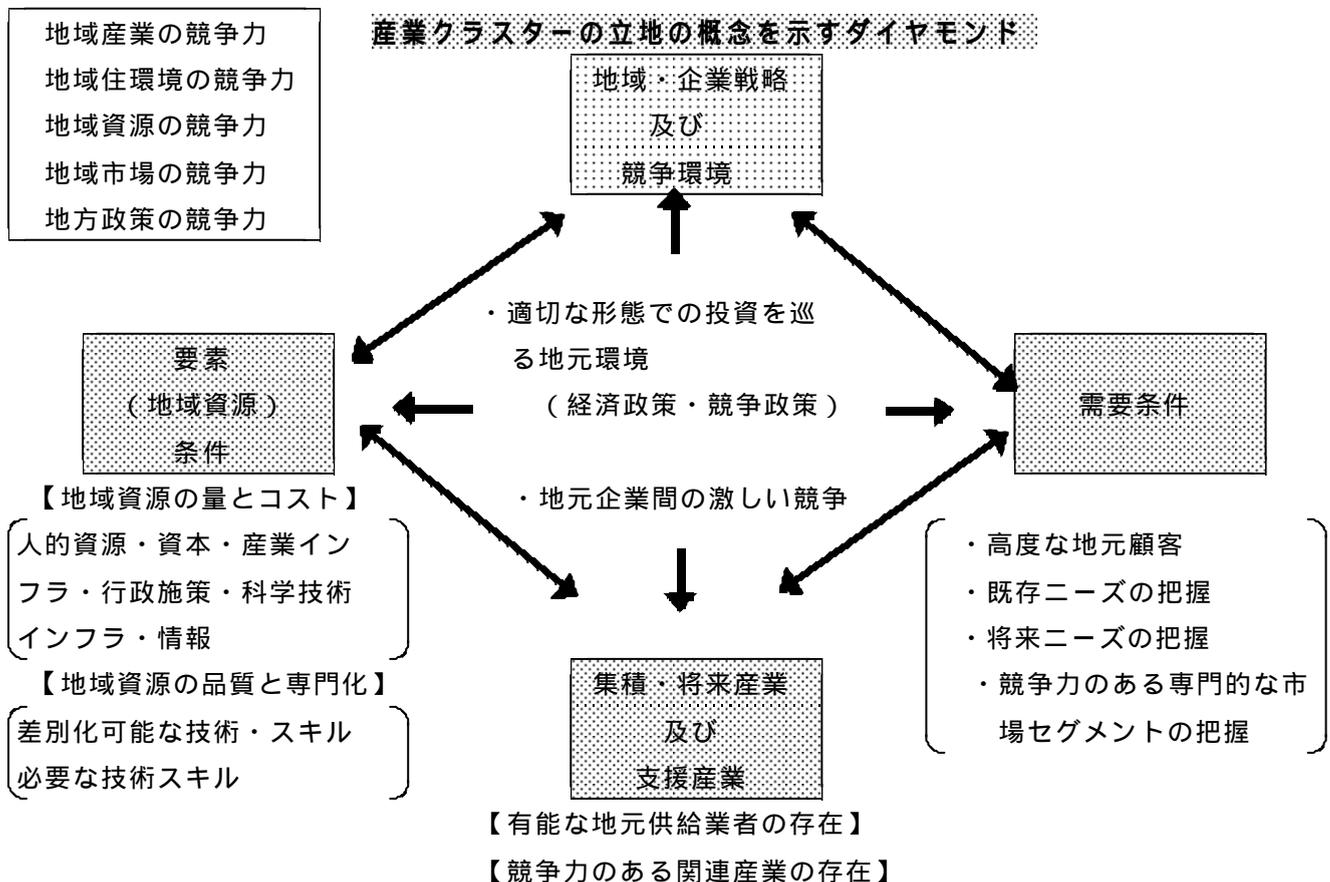
クラスターとは、ある特定の分野に属し、相互に関連した企業と機関からなる地理的に近接した

集団という概念である。

最終製品あるいはサービスを生み出す企業、専門的な投入資源・部品・機器・サービスの供給業者、金融機関、関連産業、さらには、流通チャンネルに属する企業、専用インフラストラクチャーの提供者、専門的な訓練・教育・情報・研究・技術支援を提供する政府その他の機関（大学・シンクタンク・職業訓練機関）など、地域的に密接に結びついた多機能の要素により構成される。

クラスター内での供給業者や顧客との密接な結びつき、アウトソーシング、提携、大学等研究機関の支援などが、クラスター内での自己強化のプロセスであり、企業間のみならず、産業間の重要なつながりや補完性、さらには、技術・スキル、情報、事業所向け専門サービス、マーケティング、顧客ニーズ等のスピルオーバー（ある分野の経済活動が多分野に及ぼす影響）で、競争や生産性に重要な影響を持っている。

良く発達したクラスターでは、生産性が高く、競争優位が高まる。著名な米国のシリコンバレー、



イタリアの靴クラスター。日本でも、東京都大田区、東大阪市周辺の機械・金属産業を中心とした産業集積などはそれに該当しよう。

(2) クラスターを構成する諸条件

クラスター内外の競争力を高めるための諸条件を概念化したものが、前ページのダイヤモンド図である。

企業戦略・競争の条件

イタリア式の家族的経営や、ドイツ式の階層構造などといった、その国で有利な経営手法・組織形態など、競争優位に結びつく企業戦略である。

また、競争優位の創出と維持において重要であるのが地元の競争相手である。ローカルな競争が激しいほど、効果も大きい。

需要条件

地域の顧客が高品質な製品に対するニーズを持ち、企業に対する要求水準が高いことで、企業に難題に取り組みせ、イノベーションを促進する。

要素条件

豊富な原材料の存在、一般的な教育水準の人材の存在などでは知的集約度の高い産業では競争力とはならない。産業固有のニーズに沿って専門性の高い生産要素（労働力、資本、インフラ、天然資源）の存在が競争力の根元なる。

例えば、熟練した人材や科学的な基盤などである。ただ、これには持続的で大規模な投資が必要となる。

関連産業・支援産業

国際的な競争力を持つ、関連産業・支援産業の存在は、単に部品や機械の供給だけでなく、密接なコミュニケーションの下での協力関係で、イノベーションやグレードアップに寄与してくれる。

(3) クラスターの活性化

クラスターの形成・改善プロセスは、放っておいても促進されるというものではなく、地域での関係の強さ、情報フローの開放性、種々の企業・機関の相互の迅速な反応が必要である。

クラスターが活性化し、競争力を持つためには

構成メンバーの積極的な働きが求められる。従来の、生産面でのリンケージだけではなく、イノベーションのリンケージが重要なのである。

業界団体の役割

クラスター内のつながりの制度化が最も重要な機能で、共通のニーズや規制・制約、ビジネスチャンスの確認のため、見本市や使節団派遣、地域他機関と連携した訓練プログラムの創設、大学等の研究シーズの仲介などの活動が重要となる。

政府（地方政府）の役割

まず第一にマクロ的経済と政治の安定であることは言うまでもない。第二に、教育程度の高い人材、産業インフラ、タイムリーな情報といったビジネスへの投入資源の効率的な提供を図ること。第三に、適切な競争政策、知的財産関連の法律、企業統治のルール、イノベーションを促進する規制などがある。さらに、公共投資、企業誘致だけではなく、教育政策の策定、規制の明確化と簡素化にも及ぶ。

すなわち、参入規制などの産業の高度化を妨げる要因を廃止し、低い参入障壁、素早い交流を保障することや、情報・交通インフラ、産業的に偏りのない支援政策により、新規参入やスピノフの発生を活性化させることが求められる。

企業の役割

競争優位を示すダイヤモンドの全ての要素にかかわるのが企業である。人材の供給改善、クラスター特有の情報の供給、地元大学の研究活動のグレードアップ等々に努める必要がある。

3 政府のクラスター創生事業

クラスター創生に向けて、現在、文部科学省、経済産業省のもとで、政府の提唱、地域の主導により、クラスターの創生事業が行われている。

いずれも、地域の大学等の研究機関を中心に、地元企業との共同開発等の連携を進め、同時に、ベンチャーキャピタル等による円滑なリスクマネーの供給や、知的所有権等に関する専門家のサポート体制を整えている。

概ね、バイオ、IT、半導体、高度医療、エネルギー・環境などの先端技術を核として、地域競争力の強化を図っているといえるが、クラスター間の競合も激化する方向にある。

(1) 文部科学省による知的クラスター創生事業

自治体の主体性を重視し、大学・公的研究機関等を核とし、関連研究機関、研究開発型企業等が集積する研究開発能力の拠点創生を目指す。

予算として、1地域5年間にわたり5億円/年程度の措置があり、現在、関西圏での4つのクラスターを始め、全国12カ所が指定されている。

< 関西圏でのクラスター創生 >

ヒューマンエルキュープITゲノム産業創成
(関西研究都市)

奈良先端科技大学院、同志社大学ほか。

彩都バイオメディカルクラスター(大阪北部)
大阪大学、国立循環器病センターほか。

再生医療等先端医療クラスター形成(神戸)

理研、神戸大、産総研ティッシュセンターほか。
京都ナノテク事業創成クラスター(京都)

京都大学、京都工繊大、立命館大。

(2) 経済産業省による産業クラスター計画

出資・融資や債務保証、助成金などの制度、インキュベーターの整備等、幅広い支援メニューにより地域企業との連携による拠点創生を目指す。

推進のエンジンとなるものは、「新事業創出促進法」に基づく、日本版SBI Rである。SBI Rは、米政府が中小企業支援策のひとつとして1982年にスタートさせた「スモール・ビジネス・イノベーション・リサーチ」プログラムで、「中小企業技術開発」制度と訳される。政府の研究開発テーマを公告し、企業を選定。基礎調査から本格研究、商品化を支援する。

現在、近畿経済産業局管内4カ所を始め、全国19地域が指定されており、各プロジェクトでは、数百社の企業、多数の大学等研究機関、商工団体、中小企業支援団体、ベンチャーキャピタル、金融機関等の連携が進んでいる。

< 近畿経済産業局管内でのプロジェクト >

近畿バイオ関連産業プロジェクト

ものづくり元気企業支援プロジェクト

情報系ベンチャー振興プロジェクト

近畿エネルギー環境高度化推進プロジェクト

4 地域における内発的産業振興

国の高度産業の地方拠点づくりにおける郊外・大規模開発をともなう研究パーク建設では、バブル崩壊後の景気低迷から未入居区画が発生した。

しかし一方、比較的小規模ながら、賃借形態で低コストな、工場跡等の空地を再開発する型の研究パークへの進出が増加している。

そして、これらは、ベンチャー育成機能、産学連携支援機能など、地域内での産業活性化サービスを売り物にし、事業高度化を目指す中小企業や創業を目指す有能人材にも活用が可能となった。

また、地域における、産学官のネットワーク構築も活発化しており、先端産業・内発的産業振興の拠点づくりが進められている。

北関東産官学研究会(群馬県桐生市周辺)

伝統の繊維(絹)産業衰退に悩む桐生市から群馬大学に対して、市内からの法人企業流出対策について協力要請があり、13年7月に任意団体として設立され、14年9月にNPO法人となった。なお、県をまたがった活動ができるよう、法務省に法人登記を行っている。

現在、国から年間1,100万円、群馬県から500万円、桐生市から5,000万円の産業振興事業を受託事業として行い、更に会員制の採用で、年間1,000万円の会費収入を確保し事業展開している。

< 主要活動 >

専門分野の勉強会である4専門部会の運営

研究者、弁護士、税理士などの「登録顧問団制度」、および「コーディネータ派遣」

新製品開発についての産学官からの共同提案に対する補助金制度

「技術情報誌の発行」と「セミナーの運営」

今後は、同研究会ではTLO(技術移転機関)の立ち上げとともに、「シニアエンジニア派遣事業」(大企業OBの派遣)を行う予定。



三鷹産業プラザ

(財)大田区産業振興協会



かながわサイエンスパーク (K S P)



「SOHO CITY みたか構想」(三鷹市)

(株)まちづくり三鷹は、中心市街地活性化法に基づき設立されたTMO(タウンマネジメント機関)で、商業活性化中心とみられがちなTMOが産業振興に取り組む先進事例である。

商工会ビルや空き工場・事務所を活用した三鷹産業プラザ、三立SOHOセンター、SOHOパイロットオフィスなどを拠点に、市内に敷設された光通信網を生かして、新たな創業形態であるSO(small office)の集積を推進するとともに、在宅勤務となるHO(home office)育成も図っている。

特に三鷹の駅前地域は、三鷹市地域情報化計画で「SOHOモデル地区(情報産業誘致特別地区)」にも指定されており、SOHO等情報産業誘致事業にも積極的に取り組んでいる。

神奈川県川崎市の動き

財団法人川崎市産業振興財団が平成13年に川崎市の地域プラットフォームに指定され産業支援活動が本格化している。

企業データベースをホームページで公開

川崎市研究開発機構の運営

研究開発型中小企業31社が加盟し、5つのテーマ別に研究開発に取り組む。

各種の開発製品展示会の開催

市内企業のロボット工学研究支援(ロボット競技会の開催等)

「かわさき起業家選抜」を年11回開催し、優れ

たビジネスプランには、融資制度・マッチングの場を提供し、アイデアシーズ市場として公開。

地域内起業家発掘調査

全国と川崎市の「事業所・企業統計」等の統計調査から起業動向を分析。新設法人2,230社にアンケート形式でニーズ調査し、ヒアリング調査とともに、専門家を同行し産学連携を掘り起こす。

インキュベーションセンターとしての活動

(1)かわさき夢オフィス「創房」……空店舗をSOHO施設に改装。

(2)かわさき新産業創造センター(後述)の運営産学連携窓口の整備

慶応大学、明治大学他の大学、よこはまTLO等のリエゾン担当者と、産業界の交流会議

【新川崎「創造のもり」事業】

慶応大学の研究室(12室)を誘致し、創造的研究開発拠点に。〔K²(Kスクエア)タウンキャンパス〕

かわさき新産業創造センター

K²タウンキャンパス隣接地にインキュベーション施設建設(平成14年11月完成)。スタートアップ期の企業や新分野進出を図る企業25~26社、大学研究プロジェクトが入居。

かながわサイエンスパーク(KSP)

日本におけるサイエンスパークの草分け。インキュベーターにベンチャー企業60社、研究開発型企業70社が入居。

< 主要活動 >

インキュベーターマネージャー（6～7名）

産学連携としては、東大・東工大等と連携を行い、コンサルタントは自治体（神奈川県・川崎市）の提携コンサルを利用。

ビジネス支援として、新人研修、中堅社員研修、会計支援を行っている。

K S P 投資事業組合によるベンチャー投資

K S P マネジメントスクール

コンサルタント、大学教授等の講義による指導。

また、ビジネスプランの作成により実務的体験の場から創業者を育てる（海外研修を含む）。

神奈川県高度技術支援財団（K T F）

平成元年、特許等の知的財産権の企業移転を促進することを目的に設立され、K S P 内に立地。

平成10年、国の施策にのっとりT L Oを設立し、技術仲介に本格的に乗り出す。大学以外のT L O活動として珍しく、年間200件～300件を超える国内3位の実績も有り注目されている。

また、R S P事業も展開する（文部科学省の、研究シーズの産業化を目指した共同研究の企画や技術移転等を支援することを目的とした事業。初期のネットワーク構築型と、平成12年度からの、一歩進んだ研究成果育成型があり、同財団では両方とも続けて申請し実施。）

東京都大田区の動き

約6,000工場が立地し、高技術の中小企業が多く、横受けといわれる仲間内での活発な受発注で機械関連のクラスターを形成しているが、経営者が高齢化し後継者不足が深刻化している。

また、一次下請が多く、海外へ転出したり、都市環境を守るための工業等制限法により区外へ流出する企業が多く、工場数は減少傾向にある。

現在、財団法人大田区産業振興協会が中心となって産学連携・新産業創出事業等に取り組む。

海外および国内の見本市で区がブースを確保し、区内中小企業への出展支援。

「ニュースレター」の発行……東工大や芝浦工大、都立大等々の研究シーズを広める。

産業クラスター研究会……産学公・市民のテ

ーマ別の連携組織で、「超音波」「微細表面加工」等々の3つのクラスターがある。

大企業からの用途開発の提案の受託

15年5月、学校跡を利用したインキュベーター施設建設予定。27ユニット、シェアードオフィス9テーブルを予定。ファブレス企業を中心に誘致の考え。

産学コーディネーター ……企業OBを起用したのは大田区が初めて。ただ、案件を紹介できるほど地元企業を知っている人がいないのが問題
工場アパート（テクノウイング大田）の設置
賃貸60ユニット、現入居率100%、その他住都公団の分譲工場が有り、インキュベーターの卒業企業が、区内でさらに発展できる環境を整備。

5 最後に………

国土・産業開発関連の近年の法体系は、確かに「国」が「地方」に、地方の自立と自発的な成長を求める「国」の政策ではある。さらには、「地方交付税」「国庫補助金」という国主導型の税の再配分構造も改革が進んでいない。

しかし、「国」が「地方」開発をリードすることの限界の存在には変わりはなく、「地方」、すなわち、地域産業集積なり産業クラスターなりが、内発的な、継続的なイノベーションを行うことで競争力を創出できるかが問われようとしている。

さらに支援政策については、いかに時代に対応した、自らの開発方法を、地域に、そして国にアピールできるかが問われているといえよう。

< 参考文献 >

競争戦略	マイケル・E・ポーター	ダイヤモンド社
クラスター戦略	山崎 朗	有斐閣
地域産業の未来	関 満博	有斐閣
産業集積の本質	伊丹敬之 他	有斐閣
地域活性化の戦略	平間 久雄	日本地域社会研究所
知的経済とサイエンスパーク	久保孝雄他	日本評論社
関西活性化白書	(財)関西社会経済研究所	
地域資源を活用した地域開発に関する研究		

総合研究開発機構		
構造改革による地域経済への影響および地域経済の将来に関する調査	(財)関西情報・産業活性化センター	
ハーバード・ビジネス	1999/3	ダイヤモンド社